

# 軟式野球 全国ベスト4

## 去年の悔しさバネに 悲願の初勝利

# 千西一週

第36号  
2015年  
10月9日 発行  
上田西高校  
新聞委員会  
代表  
羽毛田果歩



平成27年度8月24日(月)午前9時20分より高砂市野球場で、日本高校野球連盟が主催する、第60回全国高等学校軟式野球選手権大会の準決勝が行われた。明石トーカー球場での試合を予定していたが、当日は強風や小雨といった台風の影響により、急遽高砂球場へと変更になった。

上田西高校軟式野球部は、北信越大会で富山商業高校に4対2で勝利し、二年連続の全国大会への出場を果たした。全国大会では一回戦で鹿児島実業に2対0で勝利し、実に創部から初の全国大会での勝利を挙げた。続く準々決勝でも新田高校



### 変化球主体の投球で力投した エース高野

を4対0で下し、準決勝に駒を進めた。去年全国大会16回出場、二度の優勝を誇る秋田県立能代高校。強風により揺れる球場の中で、九回まで両チーム得点を許さぬ白熱した試合は延長戦へと持ち込まれた。12回を終えてもなお両チーム得点を得られず迎えた13回、タイブレーク制度により、攻撃はノーアウト一、二塁から開始された。また、打順は任意の打者から

を4対0で下し、準決勝に駒を進めた。去年全国大会16回出場、二度の優勝を誇る秋田県立能代高校。強風により揺れる球場の中で、九回まで両チーム得点を許さぬ白熱した試合は延長戦へと持ち込まれた。12回を終えてもなお両チーム得点を得られず迎えた13回、タイブレーク制度により、攻撃はノーアウト一、二塁から開始された。また、打順は任意の打者から

### ベンチ入りメンバー

1. 高野 直人(上田第六中)
2. 片山 浩平(東御東部中)
3. 戸澤 洋平(川中島中)
4. 小林 拓夢(篠ノ井西中)
5. 原 晶舜(松代中)
6. 内山 力斗(上田第四中)
7. 村松 界人(篠ノ井西中)
8. 町田 健輔(戸倉上山田中)
9. 佐藤 純人(真田中)
10. 坂口 徹(松代中)
11. 小田 切輝之(松代中)
12. 竹下 航平(丸子北中)
13. 堀内 泰道(小諸東中)
14. 倉島 連(篠ノ井西中)
15. 若林 太一(東御東部中)
16. 小池 陸斗(川中島中)

村松がフルカウントまで粘り、執念の押し出し四球。試合を振り出しに戻した。しかし14回表に能代高校に二点を奪われ、万事休す。14回裏の攻撃を抑えられ、無念の試合終了となった。決勝進出は果たせなかったが、全国ベスト4という輝かしい結果を残した。また、第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体軟式野球競技への出場権を得た。町田主将は「去年果たせなかった全国大会での勝利を目指し、大会に挑んだ。強い気持ちのもと戦ったため、正直ベスト4はととても悔しい」と語り、エースの高野は「去年は守りきれず悔しい思いをしたため、今年は変化球を強化し練習に励んだ。その結果が十分に発揮できたのでよかった」と語った。

タイブレーク制度とは昨年第59回全国高等学校軟式野球選手権大会の準決勝において延長50回、試合時間10時間超という熱戦がおこったことから、選手の健康を考え導入された制度である。12回終了時に同点の場合は13回から適用される。今年の全国大会準決勝、上田西対能代の試合では0-0で延長12回が終わり、13回から無死一、二塁の状態での攻撃を開始した。この試合はタイブレーク制度が初めて導入された試合であり、注目を集めた試合となった。